

地域医療支援病院業務報告書

令和6年 9月 13日

愛知県知事殿

開設者 住 所 愛知県長久手市平池 901 番地
〔法人の場合は、主たる
事務所の所在地〕

氏 名 愛知県厚生農業協同組合連合会
〔法人の場合は、名称及
び代表者の職・氏名〕 代表理事理事長 宇野 修二

下記のとおり、令和5年度の業務に関して報告します。

記

1 病院の名称等

名 称	愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院					
所 在 地	愛知県安城市安城町東広畔28番地					
診 療 科 名	内科、血液内科、腫瘍内科、内分泌・糖尿病内科、消化器内科、脳神経内科、循環器内科、腎臓内科、呼吸器内科、感染症内科、緩和ケア内科、精神科、小児科、脳神経小児科、臨床検査科、外科、乳腺・内分泌外科、消化器外科、血管外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、小児外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リウマチ科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、病理診断科、麻酔科、救急科、歯科口腔外科 計38科					
病 床 数	精 神	感 染 症	結 核	療 養	一 般	合 計
					771	771

2 施設の構造設備

施 設 名	設 備 概 要	
集 中 治 療 室	（主な設備）ICU・HCU・CCU・SICU…人工呼吸/PCPS/IABP/超音波エコー/透析装置/生体情報モニター 病床数 46床	
化 学 検 査 室	（主な設備）感染関連検査装置/腫瘍マーカー検査装置/多項目自動分析装置	
細 菌 検 査 室	（主な設備）血液培養自動分析装置/PCR	
病 理 検 査 室	（主な設備）密閉式自動包埋装置/自動染色装置/凍結切片作成装置	
病 理 解 剖 室	（主な設備）解剖台/臓器撮影装置/遺体保冷库	
研 究 室	（主な設備）分析装置：高速液体クロマトグラフィ(HPLC)、PCR、ERISA、電子分析天秤、レジプロシェーカー、ドライサーモ、遠心機、PHメーター、超音波洗浄機、ドラフト	
講 義 室	室数：1室	収容定員 200人
図 書 室	室数：1室	蔵書数 8,505冊程度
救急用又は患者搬送用自動車	（主な設備）車いす輸送車 1台 / 新生児ドクターカー 1台 保有台数 2台	
医薬品情報管理室	〔専用室の場合〕 床面積 64.41㎡（中央医薬情報室）	

備考1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

2 規則第9条の2第1項各号に掲げる事項を記載した書類を添付すること。

紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績

1 算定期間 2023年 4月 1日 ～ 2024年 3月 31日

2 紹介率 87.8%

紹介患者の数 (A)	初診患者の数 (B)	紹介率 ($A/B \times 100$)
24,843人	28,288人	87.8%

3 逆紹介率 83.6%

逆紹介患者の数 (C)	初診患者の数 (B)	逆紹介率 ($C/B \times 100$)
23,670人	28,288人	83.6%

別紙1-1 : 「令和5年度 地域医療支援病院紹介率・逆紹介率」参照

- ※1 各人数については、前年度の延べ人数を記入すること。
- ※2 紹介率及び逆紹介率は、小数点以下第1位まで記入すること。
- ※3 紹介率が80%以上であることを承認の要件とする場合で、紹介率が65%以上80%未満の病院にあつては、今後、2年間で紹介率を80%以上とするための具体的な年次計画を明らかにする書類を添付すること。

共同利用の実績
(地域の医療従事者による診療、研究又は研修のための利用)

1 共同利用の実績

- ・ 共同利用を行った医療機関の延べ機関数 6,325件
- ・ 申請者と関係のない医療機関の延べ機関数 6,325件
- ・ 共同利用に係る病床利用率 15.5%

別紙2-1:「令和5年度共同利用機関数」参照
別紙2-2:「令和5年度共同利用病床の延べ医療機関及び利用率」参照

※ 1 前年度の共同利用を行った医療機関の延べ機関数、これらの医療機関のうち申請者と直接関係のない医療機関の延べ機関数、共同利用に係る病床の病床利用率等を記入すること。

2 共同利用の範囲等

【共同利用する医療機器】

コンピュータ断層撮影装置 (CT)、磁気共鳴画像診断装置 (MRI)、RI検査装置、骨塩定量測定装置、
ポジトロン断層撮影装置CT付 (PET-CT)、X線テレビ撮影装置、X線一般撮影装置、超音波診断装置、
X線テレビ撮影装置＋内視鏡、自動解析心電計、ホルター心電図解析システム、脳波計、肺機能検査装置、血圧脈波検査装置

【共同利用する施設】

共同利用病床、図書室、講堂、会議室 (10室)

※ 2 病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具のうち、共同利用の対象としたものを記入すること。

3 共同利用の体制

共同利用に関する規程	有 ・無	
利用医師等登録制度の担当者	氏 名	
	職 種	医師

※ 3 共同利用に関する規程がある場合には、当該規程の写しを添付すること。

別紙2-3:「安城更生病院 共同利用規程」
別紙2-4:「安城更生病院 登録施設図書室利用規程」
別紙2-5:「安城更生病院 共同利用病床運営規程」参照

4 登録医療機関の名簿

医 療 機 関 名	開設者名	住 所	主たる診療科	申請者との経営上の関係
別紙2-6:「登録医療機関の名簿」参照				

※ 4 申請に係る病院と同一の2次医療圏に所在する医療機関についてのみ記入すること。

5 常時共同利用可能な病床数 5 床

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

救急医療提供の実績

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職 種	氏 名	勤 務 の 態 様	勤 務 時 間	備 考
別紙3-1:「重症救急患者の受入に対応できる医療従事者の確保状況」参照					

2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	名称 (ICU・HCU・CCU・NICU・MFICU) 58床
専用病床	名称 (無し) 床

※ 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記入すること。

3 重症救急患者に必要な検査又は治療を行うために必要な診療施設の概要

施 設 名	床 面 積	設 備 概 要	24時間使用の可否
救命救急センター (外来)	439.21㎡	(主な設備) 人工呼吸器/PCPS/IABP/超音波エコー 透析装置/生体情報モニター/除細動機/体外式ペースメーカー	可
集中治療センター (ICU・HCU・CCU・SICU)	1501.74㎡	(主な設備) 人工呼吸器/PCPS/IABP/超音波エコー 透析装置/生体情報モニター/除細動機/体外式ペースメーカー	可
新生児センター (NICU)	275.25㎡	(主な設備) 小児新生児用人工呼吸器/血液ガス分析装置 保育器/新生児用生体情報モニター/インファントウォーマ/光線治療ユニット	可
母体胎児センター (MFICU)	527.97㎡	(主な設備) 分娩監視装置/超音波診断装置/呼吸循環装置 分娩台/心電計/吸引娩出器	可
画像診断(放射線技術科)	1206.24㎡	(主な設備) CT/MRI/血管撮影	可
臨床検査技術科	2136.25㎡	(主な設備) 血液分析装置/多項目自動分析装置/血液ガス分析装置	可
手術センター	2852.69㎡	(主な設備) 外科用X線装置/超音波凝固装置/人工心肺/ 血管撮影	可
内視鏡センター	488.80㎡	(主な設備) 内視鏡光源装置/ 内視鏡 (35本) /内視鏡自動洗浄機	可

4 救急医療の提供の実績

救急用又は患者搬送用の自動車により搬入した救急患者の延べ数	9,853人 (3,919人)
上記以外の救急患者の延べ数	22,663人 (2,718人)
合計	32,516人 (6,637人)

※ () 内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

5 保有する救急用又は患者搬送用の自動車の出動回数

224回

6 備考

救命救急センター (2002年5月1日)

※特定の診療科において、重症救急患者の受入れ体制を確保する場合は、その旨を記入すること。

既に、「救急病院等を定める省令」(昭和39年厚生省令第8号)に基づき知事の救急病院の認定を受けている病院及び「救急医療対策の整備事業について」(昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知)に基づき救急医療を実施している病院にあつては、その旨を記入すること。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績

1 研修の内容

- ・地域の医師等を含めた症例検討会や研修会、講習会
- ・医学医療に関する講習会

2 研修の実績 別紙4-1:「令和5年度 研修の内容・実績」参照

(1) 地域の医療従事者への実施回数	28回
(2) (1) の合計研修者数	1,287人

※ 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

(2) には、前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修の体制

- (1) 研修プログラムの有無 ☒ 有・無
- (2) 研修委員会の有無 ☒ 有・無
- (3) 研修指導者

氏 名	職 種	診 療 科	役 職 等	臨 床 経 験 年 数	備 考
別紙4-2:「令和5年度研修指導者名簿」参照					

※ 研修責任者については、備考欄にその旨を記入すること。

別紙4-3:「プログラム 地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修」参照

別紙4-4:「教育研修委員会規程」参照

4 研修実施のための施設及び設備の概要

施 設 名	床 面 積	設 備 概 要
講堂	298.12㎡	(主な設備) マイク放送設備/イス/机/ホワイトボード/ 映像設備(PCプロジェクター含む)
会議室	874.31㎡	(主な設備) マイク放送設備(1室)/PCプロジェクター/ イス/机/ホワイトボード
シミュレーション室	35㎡	(主な設備) ベッド/シミュレーション機器(13セット)

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A 4 とする。

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法

1 管理責任者等

	氏 名	職 種	役 職 等
管 理 責 任 者 の 氏名、職種、役職等		医師	院長
管 理 担 当 者 の 氏名、職種、役職等		事務 事務 ソーシャルワーカー	医療情報室長 総務課長 地域医療連携課長

2 諸記録の保管場所及び分類方法

		保 管 場 所	分 類 方 法
診療に関する諸記録 病 院 日 誌、各 科 診 療 日 誌、処 方 せん、 手 術 記 録、看 護 記 録、検 査 所 見 記 録、 エ ッ ク ス 線 写 真、紹 介 状、退 院 し た 患 者 に 係 る 入 院 期 間 中 の 診 療 経 過 の 要 約		(a)病院管理 総務課 (b)診療情報 電子カルテ	(a) = 日付 (b) = 患者 I D
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	地域連携室	
	救急医療の提供の実績	医事課	
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績	教育研修・臨床研究支援センター	
	閲覧の実績	医療情報室	
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿	地域連携室	

※ 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格 A 4 とする。

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法
及び閲覧の実績

閲覧責任者	氏名		職種		役職等	
			医師		地域連携部長	
閲覧担当者	氏名		職種		役職等	
			ソーシャルワーカー		地域医療連携課長	
閲覧場所	地域連携室、医療情報室					
総閲覧件数	医師	歯科医師	地方公共団体	その他	合計	
	29				29	
閲覧手続の概要	【概要】 1.依頼医（かかりつけ医・転院先の担当医）より、電子カルテ閲覧依頼票で F A X にて依頼を受ける。 2.電子カルテ閲覧依頼票をもとに、患者 I D 検索を行う。 3.当院主治医に閲覧依頼があることを連絡する。 4.当院主治医は患者に同意を得る。 5.閲覧確認連絡票に閲覧日など必要事項を記入し依頼医（かかりつけ医・転院先の担当医）へ F A X にて返信する。 6.閲覧初回時のみ電子カルテ閲覧誓約書の記入が必要。 ※1患者1枚 7.閲覧専用利用者 I D を使用し電子カルテを閲覧。 ※職員が操作 ※ハードコピー不可(写し書き可) 8.電子カルテ閲覧依頼票・電子カルテ閲覧同意書・電子カルテ閲覧確認連絡票・電子カルテ閲覧契約書を原本管理。					

備考 用紙の大きさは、日本工業規格 A 4 とする。

医療法施行規則第 9 条の 1 9 第 1 項に規定する委員会の開催の実績

1 委員会の開催回数 4回

2 委員会における議事の概要

※委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

①.「第51回 地域医療支援病院運営協議会」 「委員19名中18名出席」

日時：令和5年6月7日（水）14：00～14：25

場所：Zoom開催

【協議事項等】

1) 活動実績報告

2) ゴールデンウィーク期間中の患者数調査について その他

②.「第52回 地域医療支援病院運営協議会」 「委員19名中18名出席」

日時：令和5年9月6日（水）14：00～14：35

場所：Zoom開催

【協議事項等】

1) 活動実績報告

2) 当院における新型コロナウイルス感染症発生状況

3) インターネット予約システムの診察予約のご案内について その他

③.「第53回 地域医療支援病院運営協議会」 「委員19名中16名出席」

日時：令和5年12月6日（水）14：00～14：35

場所：Zoom開催

【協議事項等】

1) 活動実績報告

その他

④.「第54回 地域医療支援病院運営協議会」 「委員19名中15名出席」

日時：令和6年3月6日（水）14：00～14：35

場所：Zoom開催

【協議事項等】

1) 活動実績報告

その他

※詳細は 別紙7-1：「第51回 安城更生病院地域医療支援病院運営協議会議事録」

7-2：「第52回 安城更生病院地域医療支援病院運営協議会議事録」

7-3：「第53回 安城更生病院地域医療支援病院運営協議会議事録」

7-4：「第54回 安城更生病院地域医療支援病院運営協議会議事録」 参照

患者相談の実績

患者相談を行った場所	医療に関すること（医療福祉相談室・総合相談室） 医療福祉に関すること（医療福祉相談室） 苦情に関すること（総務課・総合相談室）		
患者相談担当者	氏 名	職 種	役 職 等
	①・ソーシャルワーカー・医療福祉相談課長 ②・事務・総務課長 ③・看護師		
患者相談件数	36,533件		

患者相談の概要

No	内容（医療福祉相談室）	件数
1	各種社会福祉制度の申請説明	5,857
2	経済問題の解決・調整援助	2,028
3	受診・受療援助	1,734
4	退院後の療養に関する援助	17,875
5	在宅療養の整備・調整援助	3,134
6	住居環境の整備	74
7	心理的・社会的問題の解決	885
8	虐待・DV問題の調整援助	305
9	母体・養育関係の調整援助	1,381
10	就労問題の解決、調整援助	193
11	就園・就学支援	239
12	その他	750
	合計	34,455

No	内容（総合相談室及び総務課）	件数
1	受診科の相談	330
2	疾患 療養 介護の相談	555
3	健康相談	10
4	精神面の相談	58
5	検査に関する相談	32
6	薬の相談	29
7	診療システムについて （地域連携 受診の仕方 セカンドオピニオン 健診等）	915
8	医療費について	41
9	書類について	14
10	福祉に関する相談	22
11	苦情 要望 提言	65
12	医療安全に関する問題	5
13	その他	2
	合計	2078

別紙8-1：「患者相談内容」参照

※ 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が同定されないよう配慮すること。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A 4 とする。

居宅等における医療の提供の推進に関する支援の状況

居宅等医療提供施設等における連携の緊密化のための支援等の実績

1. 入院中の患者が、他院に転院又は在宅へ移行する際に、安心して転退院できるよう、
当院医師及び看護師、ソーシャルワーカー、訪問看護ステーションスタッフなどが
合同で退院前カンファレンスを実施

退院前カンファレンスに参加： 37回

2. 「受入可能病床報告システム」の稼働

西三河南部西医療圏内の病院（有床診療所含む）が互いに空床情報を共有できるシステムを
構築し、転院時など連携の緊密化、地域全体の病床の有効利用に寄与している

※参加施設数 20施設

医療を受ける者又は地域の医療提供施設に対する情報の提供の実績

1. 地域住民に医療情報を提供するために奇数月の第3木曜日に市民公開講座を開講

・「フレイル（虚弱）予防のための運動・食事・生活」 開催日：令和5年5月18日

・「アピアランスケアをご存じですか」 開催日：令和5年7月20日

・「健診を受けて生活習慣を見直そう」 開催日：令和5年9月21日

・「がん術後のリンパ浮腫について」 開催日：令和5年11月16日

・「応急処置の初期反応～救える命、救えるのはあなた自身です～」 開催日：令和6年1月12日

・「がんと闘うためのリハビリテーション」 開催日：令和6年3月31日

2. 訪問看護で関わった地域への情報共有

高齢者のための福祉教室

・「今日からできる健康寿命を延ばすコツ」 開催日：令和5年12月1日

安城市在宅医療・介護連携推進のための研修会

・「在宅療養者の避難に関する知識を身につけよう」 開催日：令和6年1月15日

3. 緩和ケア研修会等で地域医療を担う医療機関を対象とした研修及び情報を提供

4. 「かかりつけ医検索システム」の稼働

地域の医療機関の情報を管理し、患者自身が簡単な操作（タッチパネル）で自分に合った“かかり
つけ医”を検索できるシステムを設置している。また、職員用タブレット端末に更に詳細な情報を
登録し、日々の退院支援業務に活用している。

その他居宅等における医療の提供の推進に関し必要な支援の実績

・介護医療連携情報提供書 709件

・在宅訪問診察件数 190件

・訪問看護訪問件数 5,152件

・退院前カンファレンスの開催

・地域医療連携課による医療機関訪問数 62件

その他地域医療支援病院に求められる取組みの状況

1 連携体制を確保するための専用の室、担当者

専 用 の 室 の 名 称	地域連携室		
担 当 者	氏 名	職 種	役 職 等
		医師	地域連携部長
		看護師	地域連携室長
		ソーシャルワーカー	地域医療連携課長
		ソーシャルワーカー	医療福祉相談課長

2 病院の機能に関する第三者による評価

評 価 を 行 っ た 機 関 名	公益財団法人 日本医療機能評価機構
評 価 を 受 け た 時 期	2019年6月21日～2024年6月20日

※ 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。
別紙10-1：「日本医療機能評価機構 認定証」

3 退院調整部門の取組

退院調整部門の実績
転帰先…自宅：1,545人、回復期：300人、療養：121人、地域包括ケア病床：219人 一般病床：103人、介護保険施設：170人、優良老人ホーム：166人、死亡：314人、その他：127人

4 地域連携を促進するための取組みの実績

策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容
・脳卒中地域連携パス（入院～回復期～在宅） ・大腿骨頸部骨折地域連携パス（入院～回復期～在宅） ・がん地域連携パス（入院～在宅）（胃がん・大腸がん・乳がん・前立腺がん）
地域連携クリティカルパスを普及させるための取組み
開業医を訪問し、顔の見える連携を心掛けながら地域連携クリティカルパスの普及に努めている。 特に、脳卒中に関しては、脳卒中ネットワークを開催し、普及に努めている。 ・がんパスコーディネーター地区部会（2回/年） ・がんパスコーディネーター全体会（2回/年）

5 病院が果たしている役割に関する情報発信の実績

情報発信の方法
ホームページ、いんふおめーしょん（病院広報誌）、患者教室、院内掲示
内容等の概要
「ホームページ」では「あんじょうマメチシキ」と題し、当院の役割や機能を紹介している。 また、3か月に1回発刊している「いんふおめーしょん（病院広報誌）」では、院内のイベント等を患者・地域住民に向けて広報している。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。